

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		一般事務(監査)				所管	監査委員 監査事務局	
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名		事業の開始・終了年度	
	長期総合計画体系	[基本目標]						
		[小柱]					[事業開始] 昭和 3 9 年度	
		[施策]					[終了予定] - 年度	
	根拠法令等	法令(義務)		[法令等名]	地方自治法、地方公共団体の財政の健全化に関する法律			
	事業対象	区の財務に関する事務及び区の一般行政事務						
	事業目的	監査委員監査において、区の財務事務等が適正かつ効率的に執行されているか検証することにより、合理的、効率的な区政運営に寄与する。						
	事業内容	①定期監査(庁内監査、事業所監査、学校監査、管外施設監査) ②随時監査(工事監査、財政援助団体等監査、指定管理者監査) ③行政監査 ④住民監査請求に基づく監査 ⑤直接請求による事務監査 ⑥決算審査 ⑦健全化判断比率審査 ⑧例月出納検査 ⑨個別外部監査に対する意見提出等						
委託の有無	なし	委託内容						
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	監査委員監査実施数		55回程度	56	56	57	
		住民による監査請求数		—	—	—	1	
	成果指標	各監査の指摘・指示事項		—	2	5	7	
	決算額 (単位：千円)				1,504	1,644	1,579	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト(人件費など)			53,825	45,324	45,556	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			1,480	1,621	1,545	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			23	23	35	
		総経費			55,328	46,968	47,136	
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0			
一般財源(区負担額)			55,328	46,968	47,136			
前年度から改善した事項		出損等団体の一部施設施設については経済性及び効率性の監査を具体とするため、経営分析上の諸指標の算出を試行し監査の充実に努めた。						
評価の視点		評価	評価の理由					
	必要性	3	監査委員は、長の指揮監督から職務上独立した執行機関である。区における財務事務等の公正かつ効率的な執行を確保するためのチェック機関として役割を果たしている。					
	効率性	3	監査委員の定数は条例により3人と定められている。事務費についても、監査の実施に支障のない範囲でコストの縮減に努めている。					
	手段の適切性	3	監査委員の職務は地方自治法に規定されている。事務局職員による予備監査においても、適切な方法を工夫している。					
	目的達成度	3	監査結果報告において、一部指示事項はあるものの、区の財務事務等は、概ね適正に行われている。					
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了
区の行財政運営に対する区民の信頼を確保する上で、透明性とチェック機能の向上が求められており、監査の役割はより重要性を増している。区民からの負託に応えるため、引続き監査機能の充実・強化に取り組む。							維持	